



NPO PTPL “ともいき” 便り No.56

平成 26 年（2014 年）7 月 23 日発行

■大暑（たいしょ） 7 月 23 日から 8 月 6 日までの節気

いよいよ、子どもたちが待ちに待った夏休みもスタート。いつもは静かな住まいの周りも、朝から子どもたちの元気な声が聞こえ、活気があります。宿題も大変だけど、この時季は、ぜひ、子どもたちには空調の効いた部屋を飛び出し、公園など野外に出かけ、自然に親しみ、動植物に触れてもらいたいと思います。ただし、くれぐれも、熱中症対策は怠り無く、そして山や海の事故に十分気をつけてください。・・・・・・・・。

また、この節気期間中には、東北の夏祭りが行われます。「相馬野馬追（7 月 26 日～28 日）」、「盛岡さんさ踊り（8 月 1 日～4 日）」、「青森ねぶた祭り（8 月 2 日～7 日）」、「秋田竿燈まつり（8 月 3 日～6 日）」、「山形花笠まつり（8 月 5 日～7 日）」、「仙台七夕まつり（8 月 6 日～8 日）」。今年も多くの観光客が各地を訪れ、勇壮な東北の夏祭りに酔いしれることでしょう。そして、そのエネルギーが東北復興に力を与えることを願います。

◎日本の行動の明と暗

4 年に一度のスポーツの祭典サッカーワールドカップも終わり、寝不足になった方も多くいたと思います。日本代表は残念ながら予選リーグで敗退しましたが、今回のワールドカップでは、日本人のサポーターが、試合終了後にスタジアムでゴミ拾いをする様子が現地メディアで報じられ、大きな話題となりました。

この日本人サポーター行為をたたえ、リオデジャネイロ州政府がサポーター代表として駐リオ日本総領事や地元日系団体代表に、「すばらしい行為だ」に対し表彰したという嬉しいニュースが届きました。表彰したリオ州政府の観光局長は、「日本人の行動は文化的な遺産だ」と讃えた上で「再来年のリオオリンピック

ックでは、ブラジル人にも見習ってもらいたい」などと述べました。

このようなニュースが届くと、まだまだ日本人の公共マナーは捨てたものじゃないと誇りに思うとともに、日本人の顔が見える行為がワールドカップという大舞台で世界の、人々に伝えられたことは嬉しい限りです。

一方、国内に目を転じると、地方自治体議員の信じられない行動が次から次と報道されました。東京都議会議員の女性議員に対するやじに始まり、号泣する兵庫県会議員、神奈川県議会議員の脱法ハーブ使用、青森県平川市議会議員の大量逮捕などなど・・・・・・・・。

こう立て続けに議員という立場の大人たちの不祥事や情けない姿を見るにつけ、議員という立場の人々の劣化がここまで進んでいるのか、と残念というより、悲しくなってきました。はたして歯止めができるのでしょうか？

この夏休みのあいだ、本当に子どもたちには、学力アップも大切ですが大いに自然の中で伸び伸びといろいろなものに触れ、観察してもらいたいですね。NPO PTPL が提唱する「人と人、人と自然のコミュニケーション」を体験して、五感を育み、想像力、創造性溢れた大人になってもらいたいものです。

文：佐藤 誠 (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 事務局)

■ ともいき・ともうみ雑感彼是

ムンムン、ムシムシ・・・・・・・・蒸し暑い真夏日の連続。

とてもとても、もう降参です。

九州、中国、四国、近畿、東海は土用の入りと同時に梅雨も明け、関東も今日、明日にはというところです。

全国各地で夏祭りも盛んに行われています。

ミンミンゼミも10日ほど前から細々と鳴き始め、その鳴き声もだんだんと力強く、大きくなり身近に聞こえ始めました。夏の真っ盛りです。

こんなに秋の涼風が待ち遠しい夏は、はじめてです。

暑さに関する夏の季語を三つ紹介しましょう。

● 風死す。

風がぴたっと止んで、耐え難い暑さになることで、朝風（あさなぎ）や夕風（ゆうなぎ）、土用風（どようなぎ）のような状態を言います。

風止まるでなく、風死すと擬人法で表現することで迫真力も増します。

●油照（あぶらでり）。

薄曇りで風のない日の蒸し暑さを油照と言います。

油が煮えたぎったような暑さという説もありますが、脂照の表現もあり、脂汗のにじんてくるような暑さを言います。

●溽暑（じょくしょ）

溽の字がそもそも蒸し暑いという意ですから、溽暑と書かれると文字を見ているだけで汗が吹き出しそうです。

溽暑はまた、旧暦の6月の別称ですから、新暦に直すと7月になり、ちょうど南から湿った風が吹き込むころです。

冷房のない時代の人たちにとって、一年のうちでも一番耐え難い月だったことでしょう。



勝田 祥三 (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事長)

■ 事務局だより

●今年の夏の厚さが厳しそうで夏バテが心配されます。夏バテといえ、夏の滋養強壮は昔から「うなぎ」が定番。7月29日（火）は「土用の丑の日」です。しかし、うなぎを取り巻く環境はここ数年厳しいものがありました。ニホンウナギは絶滅が危惧され、稚魚の不良が続き、庶民にとっては高嶺の花になっていました。

ただ、今年はいなぎの出荷量も増え、価格も下がっているようなので、嬉しいニュースです。うなぎにばかり、鯨にばかり、日本の伝統の食文化が徐々になくなりそうな気配があり、心配です。

●「おらが富士」に「私と富士山」という寄稿エッセイがあり、その中のお一人の實川欣伸（沼津市在住・71歳）さんが7月16日、1673回という富士山最多登頂の新記録を達成されました。これまでの記録は昭和のはじめ梶房吉（御殿場市の強力）さんが記録した1672回。

實川さんのエッセイはこちらからご覧いただけます。

http://www.plantatree.gr.jp/oragafuji/message/jitukawa_yosinobu.html

●7月23日（水）は「ふみの日」です。メール・電話がコミュニケーションの主流の現代ですが、たまには親しい人に手紙を書いてみてはどうですか？ きつと素敵な返事が来ると思いますが・・・。

「ふみの日」の詳しい解説は「ともいき暦」の7月23日の郵便マークをクリックしてご覧下さい。

[\(http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/2014/\)](http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/2014/)

● Facebook「ともいきぐらし」(<https://www.facebook.com/tomoikigurashi>)
「おらが富士計画 ふるさと富士山探し」(<https://www.facebook.com/oragafuji>)
「ジャパネスク」のサイト (<http://japanesque.pw/>) をご覧ください。そしてご意見、ご感想をお寄せください。お待ちしております。

■お問い合わせは

NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 事務局 担当：佐藤
〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-2-18 虎ノ門興業ビル7階
電話：03-6205-7503
FAX：03-6205-7504
Email：info@plantatree.gr.jp